

### 1 はじめに

上益城郡は、坂本政司会長（蘇陽中学校）を中心に、8校17名の研究員で構成され、教科等研究会の活動を中心として研究を進めている。昨年度までは、本郡生徒の現状を踏まえ、長期にわたって「体力向上」を研究テーマに入れてきたが、各校の体力向上の取組により、令和元年度の体力調査の結果では、約60%の項目で県平均を上回った。このまま、体力向上に向けた取組を継続していくとともに、新学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」を達成したいと考え、研究テーマを設定した。

まず、「主体的・対話的な授業にするための取組」として、①「単元計画表、メニューボードを提示する。」②「学習目標（めあて）を明確に示す。」③「課題解決場面の設定を行う。」④「友達と助け合う、話合う活動を行う。」⑤「振り返りの活動を行う。」⑥「学習カード及びICT機器を活用する。」を共通実践事項とした。

さらに、「主体的・対話的で深い学び」を達成するには、単元を学習した後の生徒の姿をイメージして授業を構想していく必要があると考えた。この「単元のゴール」を意識するための取組では、①「教材研究の際の「単元構想」の設定や主体的・対話的で深い学びを実現する場面を設定する。」②「授業の際、生徒に『単元のゴールの姿』を提示する。」③「単元の学習課題を毎時間の授業で提示し、生徒に課題意識をもたせる。」④「生徒が学習したことの意義や価値を実感できる評価を工夫する。」ことを共通実践事項として研究を進めた。

### 2 研究テーマ

「主体的・対話的な学びを通して、みんなが「単元のゴールの姿」を目指して活動する保健体育の授業」

～充実したオリエンテーションの授業を通して～

### 3 成果と課題（○：成果 ●：課題）

○ICT機器を使うことで、自分やチームの課題が明確になり、課題を解決させるための話し合い活動が活発になった。

●ICT機器を用いて撮影を行う際には、どの場面を撮影するのかという指示を明確にしておかないと、見る視点がぶれてしまい、学習課題とは異なる意見や考え方が生まれる

### 4 実践事例

#### (1) 授業の概要

中学3年生「球技：バレーボール」

授業者：有働 秀樹教諭（益城中学校）

これまでのオリエンテーションは単元の初回のみに行っていたが、本時においては、単元前半の授業を振り返り、自己やチームの課題を把握すると共に、単元後半のオリエンテーションを行い、再度「単元のゴールの姿」の姿を明確にして、授業に臨む姿を目指すことを目標とする授業である。



図1  
授業の流れを掲示するボード



図2  
タブレット端末で撮影した動画を見ながら、作戦会議をする様子



図3  
キャッチバレーボールにすることで、スパイクやブロックができるようになった様子



図4  
タブレット端末でゲームを撮影する様子

(2) 指導案

①本時の目標 バレーボールコートで「拾って、つなげて、アタック！」を行うために必要なことを考える。

②展開

過程	時間	学習活動	指導上の注意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p><b>1 課題をつかむ</b></p> <p>①ランニング・体操・健康観察・チーム発表</p> <p>②今日の学習の流れを確認する。</p> <p>③スキルアップタイム</p> <p>○キャッチバレーボールゲーム</p>	<p>○健康状態に十分注意する。</p> <p>○これまでの技能のポイントを振り返る。</p> <p>○みんなで声をかけ合いながら、ゲームができるように促す。</p>
		<p><b>【めあて】 バレーボールコートで「拾って、つなげて、アタック！」を行うために必要なことを考えよう。</b></p>	
展開	35分	<p><b>2 課題解決に向けて活動をする。</b></p> <p>①<u>これまでの学習を振り返る</u></p> <p>これまでの個人・チームの動画記録を見ながら、技能のポイントを振り返る。</p> <p>②「<u>単元のゴール姿</u>」を再確認する</p> <p>バレー部が練習する動画を視聴し、「ゴールの姿」である「拾って、つないで、アタック！」がどのようなものかを確認する。</p>	<p>○これまでの授業の中で撮影した個人やチームの技能の動画を見て、技能のポイントを確認させたり、上達を実感させたりする。</p> <p>○オンザボールの動きだけでなく、オフザボールの動きに注目させる。</p>
		<p>③<u>ゲーム①</u></p> <p>バレーボールコートとバドミントンコートで3分間×4セットのゲームを行う。ゲームを進めながら、学習課題の解決を図るための話し合いを行う。</p> <p>④<u>チームで話し合い、全体での確認を行う。</u></p> <p>学習課題に対するチームの考えを整理し、全体意見を出し合う</p> <p>□空いた場所をねらうには・・・</p> <p>□空いた場所をつくらないためには・・・</p> <p>⑤<u>ゲーム②</u></p> <p>再度3分間のゲームを行う。ゲーム①と全体共有で学んだことを実践する時間とする。</p>	<p>○見る人はゲームの観察や分析を行い、動画を適宜撮影する。</p> <p>○出された意見を認めながら、対話を重ねていくことで、学習課題に対する答えに気づかせる。</p> <p>○ゲーム②で学習課題を意識した動きができるように、「技能の基準」を示す。</p>
		<p><b>【学習課題】 空いた場所をめぐる攻防に必要な動きを考えよう</b></p>	
		<p><b>【具体の評価基準】 (思・判・表)</b></p> <p>自己や仲間の技術的な課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p>	
終末	5分	<p><b>3 めあてに対する振り返りを行う</b></p> <p>①今日の学習のまとめ、発表をする。</p>	<p>○上手くいった時の場面を振り返りながら、新たな気づきがあれば発表させる。</p>
		<p><b>【まとめ】</b></p> <p>ラリーの中で空いている場所をカバーする動きをするとよい。</p>	
		<p>②学習の振り返り</p> <p>③整理運動・片付け</p>	<p>○教師がチームワークについての気づき、称賛、アドバイスを行う。</p> <p>○生徒の体調を確認し、安全に留意させる。</p>